

令和5年度

第1学年

後期 評価規準



横浜市立幸ヶ谷小学校



1年 国語科 後期 評価規準

観 点	評 価 規 準	単 元 名
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	こえにだしてよもう
	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 	ききたいな、ともだちのはなし
	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	やくそく
	<ul style="list-style-type: none"> 文の中における主語と述語の関係に気付いている。 	うみのかくれんぼ
	<ul style="list-style-type: none"> 第一学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。 	かずとかんじ
	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 	くじらぐも
	<ul style="list-style-type: none"> 助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、「」の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。 	しらせたいな、みせたいな
	<ul style="list-style-type: none"> 助詞の「は」「へ」「を」の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。 	まちがいをおそう
	<ul style="list-style-type: none"> 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。 	ことばをたのしもう
	<ul style="list-style-type: none"> 第一学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 	かん字のはなし
	<ul style="list-style-type: none"> 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 	じどう車くらべ じどう車ずかんをつくろう
	<ul style="list-style-type: none"> 片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 	かたかなをかこう
	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。 	ともだちのこと、しらせよう
	<ul style="list-style-type: none"> 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 	むかしばなしをよもう／おかゆのおなべ
	<ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句 	

	<p>のまとまりがあることに気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。 ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ・片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 ・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。 ・第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。 ・言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 	<p>ものの名まえ</p> <p>わらしべちょうじゃ</p> <p>日づけとよう日</p> <p>てがみでしらせよう</p> <p>こえに出してよもう</p> <p>ききたいな、ともだちのはなし</p> <p>たのしいな、ことばあそび</p> <p>たぬきの糸車</p> <p>かたかなのかたち</p> <p>ことばを見つけよう</p> <p>どうぶつの赤ちゃん</p> <p>これはなんでしょう</p> <p>ずうっと、ずっと、大すきだよ</p> <p>にているかん字</p> <p>いいこといっぱい、一年生</p>
<p>思考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 	<p>こえにだしてよもう</p>

<p>・ 判断 ・ 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き写している。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。」 ・「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。 ・「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに間違いを正している。 ・「書くこと」において、語と語の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。」 ・「書くこと」において、語と語の続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 	<p>ききたいな、 ともだちのはなし</p> <p>やくそく</p> <p>うみのかくれんぼ</p> <p>かずとかんじ</p> <p>くじらぐも</p> <p>しらせたいな、みせたいな</p> <p>まちがいをおそう</p> <p>かん字のはなし</p> <p>じどう車くらべ</p> <p>じどう車ずかんをつくろう</p> <p>かたかなをかこう</p> <p>ともだちのこと、しらせよう</p> <p>むかしばなしをよもう／おかゆのおなべ</p> <p>ものの名まえ</p> <p>わらしべちよ</p>
------------------------------	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことを共有している。 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 ・「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 	<p>うじゃ</p> <p>日づけとよう日 てがみでしらせよう</p> <p>こえに出してよもう</p> <p>ききたいな、ともだちのはなし</p> <p>たぬきの糸車</p> <p>かたかなのかたち</p> <p>ことばを見つけよう</p> <p>どうぶつの赤ちゃん</p> <p>これはなんでしょう</p> <p>ずうっと、ずっと、大すきだよ</p> <p>にているかん字</p> <p>いいこといっぱい、一年生</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をいかしながら、進んで詩の内容を捉え、音読を楽しもうとしている。 ・これまでの学習をいかし、積極的に友達の話聞き、質問や感想を述べようとしている。 ・学習の見通しをもって、進んで登場人物の行動を確かめ、声 	<p>こえにだしてよもう</p> <p>ききたいな、ともだちのはなし</p>

	<p>に出してお話を楽しもうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く読み、分かったことを伝えようとしている。 ・これまでの学習や経験をいかし、積極的に数え方に興味をもち、漢字を使って数え歌を書こうとしている。 ・これまでの学習をいかして、積極的に想像力を広げて物語を読み、想像したことを友達に伝えようとしている。 ・学習の見通しをもち、知らせたいものを丁寧に観察し、見つけたことを文章にして伝えようとしている。 ・これまでの学習をいかし、進んで文章の文字を見直し、適切な表記に正そうとしている。 ・これまでの学習や経験をいかし、積極的に詩や早口言葉を楽しみ、発声や姿勢に気を付けながら声に出してよもうとしている。 ・積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。 ・進んで文章を読み、説明における順序の重要性を知ることで、自分が説明するときにかきたいことを見つけようとしている。 ・分かりやすい説明の仕方に興味をもち、説明の順序に気をつけながら、自分でも自動車図鑑をつくらうとしている。 ・これまでの学習をいかし、片仮名の表記の仕方に気を付けながら、文の中で使おうとしている。 ・紹介するという見通しをもち、進んで友達に質問し、友達について書こうとしている。 ・これまでの学習をいかし、積極的に世界の昔話を読み、感想をカードに書いて伝えようとしている。 ・学習の見通しをもって、積極的に言葉の上位語と下位語に関心をもち、言葉を集めて「お店屋さんごっこ」をしようとしている。 ・今までの学習をいかし、積極的な昔話の読み聞かせを楽しみ、内容や感想を共有しようとしている。 ・積極的に日付や曜日を表す言葉に関心をもち、これまでの学 	<p>やくそく</p> <p>うみのかくれんぼ</p> <p>かずとかんじ</p> <p>くじらぐも</p> <p>しらせたいな、みせたいな</p> <p>まちがいをおそう</p> <p>ことばをたのしもう</p> <p>かん字のはなし</p> <p>じどう車くらべ</p> <p>じどう車ずかんをつくらう</p> <p>かたかなをかこう</p> <p>ともだちのこと、しらせよう</p> <p>おかゆのおなべ</p> <p>ものの名まえ</p> <p>わらしべちよ</p>
--	--	---

	<p>習をいかして自分でも唱え歌を作ろうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習をいかし、書いた文章を積極的に見直しながら、身近な人に手紙を書こうとしている。 ・これまでの学習をいかし、進んで詩の内容を捉え、音読を楽しもうとしている。 ・学習の見通しをもって、積極的に友達を聞き、質問や感想を述べようとしている。 ・これまでの学習をいかし、身近なことを表す語句に積極的に関心を持ち、言葉遊びを楽しもうとしている。 ・これまでの学習をいかし、場面の様子に進んで着目し、好きな場面を音読しようとしている。 ・形の似ている字を選んで探し、片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。 ・これまでの学習をいかし、積極的に身近なことを表す語句を使った文を書き、語彙を豊かにしようとしている。 ・学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら粘り強く読むことで、本から得たことを友達に知らせようとしている。 ・これまでの学習をいかし、粘り強く二人で話し合い、協力してクイズを作ろうとしている。 ・学習の見通しをもち、友達の考えや感想を積極的に知ろうとし、読んで感じたことを伝え合おうとしている。 ・これまでの学習をいかし、進んで漢字の形に注意し、楽しみながら文を書こうとしている。 ・これまでの学習や経験をいかし、事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。 	<p>うじゃ</p> <p>日づけとよう日</p> <p>てがみでしらせよう</p> <p>こえに出してよもう</p> <p>ききたいな、ともだちのはなし</p> <p>たのしいな、ことばあそび</p> <p>たぬきの糸車</p> <p>かたかなのかたち</p> <p>ことばを見つけよう</p> <p>どうぶつの赤ちゃん</p> <p>これは、なんでしょう</p> <p>ずうっと、ずっと、大すきだよ</p> <p>にているかん字</p> <p>いいこといっぱい、一年生</p>
--	---	--

1年 算数科 後期 評価規準

観 点	評 価 規 準	単 元 名
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40までの数について、数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を正しく数えたり、数字を読んだり書いたり、加法・減法の式に表したりすることができる。 	10よりおおき いかず
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。 	なんじなんじ はん
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算ができる。 	3つのかずの
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体積についての基礎的な意味や、保存性、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りにある入れ物に入る水の体積を比べることができる。 	けいさん どちらがおお い
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算ができる。 	たしざん
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能をとらえたり、構成や分解をしたりすることができる。 	かたちあそび
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算ができる。 	ひきざん
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 120程度までの数について、数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を正しく数えたり、数字を読んだり書いたり、加法・減法の式に表したりすることができる。 	どちらがひろ い
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面積についての基礎的な意味や比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、直接比較や任意単位による測定などによって、身の回りにあるものの面積を比べたりすることができる。 	なんじなんぷ ん
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。 	たしざんとひき ざん
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。 	かたちづくり
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りにあるものの形について、その概形や特徴をとらえ、直線で構成されたものも、面で表されたものと同じように見 	

	<p>られることを理解し、色板や棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができる。</p>	
<p>思考 ・ 判断 ・ 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考えて表現したりしている。 ・ 短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。 ・ 2つの数の加法や減法と基にして、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え表現している。 ・ 身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによる体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。 ・ 10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。 ・ 身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴をとらえたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。 ・ 数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。 ・ 120程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考えて表現したりしている。 ・ 身の回りにあるものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、数値で表したりしている。 ・ 短針と長針の関係をとらえて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。 ・ 数量の関係に着目し、順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。 ・ 身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴をとらえたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。 	<p>10よりおおき いかず</p> <p>なんじなんじ はん</p> <p>3つのかずの けいさん どちらがおお い</p> <p>たしざん</p> <p>かたちあそび</p> <p>ひきざん</p> <p>おおきいかず</p> <p>どちらがひろ い</p> <p>なんじなんぷ ん</p> <p>たしざんとひき ざん</p> <p>かたちづくり</p>

<p>主体的に 学習に 取り組む 態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> •数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •3つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能をとらえたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •身の回りにあるものの面積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 •身の回りにあるものの形について、形の特徴をとらえたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 	<p>10よりおおき いかず なんじなんじ はん 3つのかずの けいさん どちらがおお い たしざん かたちあそび ひきざん おおきいかず どちらがひろ い なんじなんぷ ん たしざんとひき ざん かたちづくり</p>
-------------------------------------	---	---

1年 生活科 後期 評価規準

観 点	評 価 規 準	単 元 名
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の様子や自然を利用した遊びの面白さ、自然の不思議さに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 ・生き物には、生態や様子に合った世話のしかたがあることに気付くとともに、継続的に世話をすることの大切さに気付いている。 ・生き物に生態や変化について、継続的に観察し、状態に応じて工夫して世話している。 ・家の人の「にこにこ」について考える活動を通して、家庭での生活は様々な人が支え合っていることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 ・冬の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の様子や四季の変化に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。 ・1年間を振り返ったり、幼児と交流したりする活動を通して、他者とかかわることのよさや、1年間でできるようになったことに気付いている。 	<p>あきとなかよし</p> <p>いきものとなかよし</p> <p>みんな にこにこ</p> <p>大きくせん</p> <p>ふゆと</p> <p>なかよし</p> <p>もうすぐみんな 2年生・ようこそ こうがやしょう がっこうへ</p>
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の特徴について考えたり、遊びや遊ばしに使うものを工夫して作ったりしている。 ・継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について考えている。 ・家の人の「にこにこ」について考える活動を通して、家庭生活を支えている人のことや、家庭内で自分ができることなどについて考えている。 ・冬の自然に触れる活動を通して、身近にある自然の様子や四季の変化について考える。 ・1年間を振り返ったり、幼児と交流したりする活動を通して、他者に伝えたいことを考えたり、自分のことについて考えたりしている。 	<p>あきとなかよし</p> <p>いきものとなかよし</p> <p>みんなにこにこ</p> <p>ふゆと なかよし</p> <p>もうすぐみんな 2年生・ようこそ こうがやしょう がっこうへ</p>
主体的に 学習に 取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然に触れる活動を通して、身近にある自然を取り入れて生活を楽しんだり、おいあそびを創り出したりしようとしている。 ・継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物に親しみをもち、大 	<p>あきとなかよし</p> <p>いきものと</p>

<p>態度</p>	<p>切にしようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人の「にこにこ」について考える活動を通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活をしたりしようとしている。 ・冬の自然に触れる活動を通して、身近にある自然を取り入れて、生活を楽しくしようとしている。 ・1年間を振り返ったり、幼児と交流したりする活動を通して、他者と進んで交流したり、これからの自分の成長へ願いをもって生活したりしようとしている。 	<p>なかよし みんなにこにこ ふゆと なかよし もうすぐみんな 2年生・ようこそ こうがやしょう がっこうへ</p>
-----------	---	---

1年 音楽科 後期 評価規準

教材曲

- 【いいおとみつけて】 こうしんきょく いろいろなおとを みつけよう、ねこのなきごえであそぼう
2ひきのねこのゆかいなうた
- 【きょくのながれ】 おどる こねこ
- 【めざせ がっきめいじん】 すずめがちゅん
- 【うたでまねっこ】 もりの くまさん、フルーツケーキ
- 【みんなであわせて】 おもちやの チャチャチャ、おもちやのへいたい
きらきらぼし、ほしのおんがくをつくろう
- 【にっぽんのうた みんなのうた】 おしょうがつ、たきび、うれしいひなまつり、きみがよ

観 点	評 価 規 準	単 元 名
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想とリズムなど音楽の構造と関わりに気付いている。 ・ 楽器の音色と演奏の仕方の関わりに気付いている。 ・ 身近な打楽器の音の特徴や、音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さに気付いている。 ・ 発想を生かした表現をするために設定した条件に基づいて、即興的にリズムや楽器を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。 ・ 曲想と音色、強弱、呼びかけと答え、変化に気付いている。 ・ 曲想と鍵盤ハーモニカの音色、速度、強弱、演奏の仕方との関わりに気付いている。 ・ 思いに合った表現をするために必要なリズムを聴いたり、リズム譜を見ながら音色に気を付けて演奏したりして、互いの楽器の音を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 ・ 曲想と旋律、模倣の面白さを感じ取る呼びかけと答えに着目した音楽の構造や歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ・ 思いに合った表現をするために必要な範唱に合わせて、自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったりする技能を身につけて歌っている。 ・ 曲想と打楽器のリズム、拍、フレーズ、呼びかけと答え、音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 ・ 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。 	<p>いいおとみつけて</p> <p>きょくのながれ</p> <p>めざせがっきめいじん</p> <p>うたでまねっこ</p> <p>みんなであわせて</p> <p>にっぽんのうた</p> <p>みんなのうた</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・思いに合った表現をするために必要な音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽を作る技能を身に付けて音楽をつくっている。 ・曲想と旋律、フレーズに着目した音楽の構造や歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 	
思考判断表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音色や呼びかけと答えなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いを持ったり、曲の楽しさを見い出して聴いたりしている。 ・音色、強弱、呼びかけと答えを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ている。 ・音色、強弱、旋律、反復、呼びかけと答えなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いている。 ・音色、速度、強弱、旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。 ・旋律、フレーズや呼びかけと答えなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ・拍やリズム、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見出し、曲全体を味わって聴いている。 	<p>いいおとみつ けて</p> <p>きよくのなが れ</p> <p>めざせがっき めいじん</p> <p>うたでまねっ こ</p> <p>にっぽんのう たみんなのう た</p> <p>みんなであわ せて</p>
主体的に学習に取り組む態	<ul style="list-style-type: none"> ・「いろいろな音を見つける」音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に発想を生かした音遊びをする学習活動に取り組もうとしている。 	<p>いいおとみつ けて</p>

<p>度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打楽器の音色や演奏の仕方などに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 ・ 音楽が表している情景を想像して鑑賞する活動を楽しみながら、主体的・協働的に、曲や演奏の楽しさに気付いて聴く学習に取り組もうとしている。 ・ 鍵盤ハーモニカの音色や演奏の仕方に関心を持ち、主体的・協働的に曲想を感じ取って演奏する学習活動に取り組もうとしている。 ・ 歌唱活動を楽しみながら、主体的・協働的に範唱や互いの歌声を聴いて歌う学習活動に取り組もうとしている。 ・ 曲想を感じ取り、音楽が表している情景を想像して歌ったり演奏したりする学習に興味を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・ 打楽器の音色やリズム、演奏の仕方などに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に声や音を合わせて演奏する学習活動に取り組もうとしている。 ・ 聴き合って歌う学習に興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 ・ 歌詞の表す情景を想像することや旋律の特徴を捉えることに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、学習活動に取り組もうとしている。 	<p>きよくのながれ</p> <p>めざせがっき</p> <p>めいじん</p> <p>うたでまねっこ</p> <p>みんなであわせて</p> <p>にっぽんのうた</p> <p>みんなのうた</p>
----------	---	--

1年 図画工作科 後期 評価規準

観 点	評 価 規 準	単 元 名
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・乗ってみたいものや行ってみたい場所から想像を広げて、表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色に気付いている。 ・クレヨン、パス、共用の絵の具などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感触などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して、表している。 ・色水をつくったり並べたりするときの感覚や行為を通して、いろいろな色や形などに気付いている。 ・紙粘土ででこぼこを写すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や触った感じなどに気付いている。 ・粘土、粘土べらに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に、表し方を工夫して表す。 ・はさみ、テープ、のりなどの接着剤、紙皿や箱などに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいものを基に表し方を工夫して表している。 ・いろいろな材料で形を写して表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 	<p>のってみたい ないきたいな</p> <p>おはなしから うまれたよ</p> <p>カラフルいろ みず</p> <p>でこぼこはっ けん</p> <p>ごちそうパー ティー</p> <p>いっしょにお さんぽ</p> <p>によきによき とびだせ</p> <p>うつしたかた ちから</p>
思考 ・ 判断 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 ・いろいろな形や色などを基に自分のイメージをもちながら、物語を聞いたり読んだりして感じたこと、想像したことか 	<p>のってみたい ないきたい な</p> <p>おはなしから うまれたよ</p>

	<p>ら、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色水の色などを基に、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。 ・いろいろな形や触った感じなどを基に自分のイメージをもちながら、身の回りにあるでこぼこの造形的な面白さや楽しさなどについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 ・粘土を触った感じや、ごちそうパーティーの様子を想像したことから表したいことを見付け、好きな形を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのようにあらかずかについて考えている。 ・散歩にでかける様子を想像したことから表したいことを見付け、好きな形を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのようにあらかずかについて考えている。 ・いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、膨らむ袋の様子から、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 ・いろいろな形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、形を写しながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 	<p>カラフルいろ みず でこぼこはっ けん ごちそうパー ティー いっしょにお さんぽ によきによき とびだせ うつしたかた ちから</p>
<p>主体的に 学習に 取り組む</p>	<p>・つくりだす喜びを味わい、楽しく乗ってみたいものや行ってみたい場所を思い浮かべながら表す学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>のってみたい な いきたい な</p>

<p>態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりだす喜びを味わい楽しくたくさんの身の回りにある材料を基に、思いついたことを試す学習活動に取り組もうとしている。 ・つくり出す喜びを味わい、楽しく物語を聞いたり読んだりして思い浮かべたことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。 ・色水をつくることから思いついたことを試す学習活動に取り組もうとしている。 ・つくりだす喜びを味わい、楽しく紙粘土ででこぼこを写し、形の面白さを味わう学習活動に取り組もうとしている。 ・つくりだす喜びを味わい楽しくいろいろな食べ物の形を思い浮かべて油粘土で表す学習活動に取り組もうとしている。 ・楽しく一緒に散歩にいきたい仲間を思い浮かべて粘土で表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わおうとするともに、形や色などにかかわり楽しい生活を創造しようとする。 ・楽しく袋を膨らませる仕組みから思いついたものを表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などにかかわり楽しい生活を創造しようとする。 ・つくり出す喜びを味わい、楽しく写したものの形や色から思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしている。 	<p>ならべてならべて</p> <p>おはなしからうまれたよ</p> <p>カラフルいろみず</p> <p>でこぼこはっけん</p> <p>ごちそうパーティー</p> <p>いっしょにおさんぽ</p> <p>によきによきとびだせ</p> <p>うつしたかたちから</p>
-----------	---	---

1年 体育科 後期 評価規準

観 点	評 価 規 準	単 元 名
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒を使った運動遊びの行い方を知るとともに、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりや易しい回転といった動きを身に付けている。 ・マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転といった動きを身に付けている。 ・跳び箱を使った運動遊びの行い方を知るとともに、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りといった動きを身に付けている。 ・跳の運動遊びの行い方を知るとともに、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりする動きを身に付けている。 ・ボール蹴り、ボール投げゲームの行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めと守りの動きを身に付けている。 ・表現リズム遊びの行い方を知るとともに、題材の特徴を捉えて、跳ぶ、回る、移動する等、体を大きく動かしたり、音楽に合わせて踊ったりする動きを身に付けている。 	<p>器械・器具を使った運動遊び</p> <p>走・跳の運動遊び</p> <p>ボールゲーム（蹴り） 表現リズム遊び</p>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒、マット、跳び箱を用いた簡単な遊び方を工夫しているとともに、考えたことを表現したり、友達の動きのよさに気付いたりしている。 ・跳の簡単な遊び方を工夫しているとともに、考えたことを表現したり、友達の動きのよさに気付いたりしている。 ・簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりしているとともに、考えたことを表現したり、友達の動きのよさに気付いたりしている。 ・題材の特徴を捉えて、踊り方を工夫しているとともに、友達の動きのよさに気付いている。 	<p>器械・器具を使った運動遊び</p> <p>走・跳の運動遊び</p> <p>ボールゲーム（蹴り）</p> <p>表現リズム遊び</p>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動をしようとしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしながら、鉄棒、マット、跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。 	<p>器械・器具を使った運動遊び</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動をしようとしたり、勝敗を受け入れたりしようとしたり、場の安全に気を付けたりしながら、跳の運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・規則を守り、誰とでも仲よく運動しようとしたり、勝敗を受け入れようとしたり、場や用具の安全に気を付けたりしながら、学習に進んで取り組もうとしている。(ボールけり) ・誰とでも仲よく踊ったり、周りの安全に気を付けて踊ったりしながら、学習に進んで取り組もうとしている。 	<p>走・跳の運動遊び</p> <p>ボールゲーム(蹴り)</p> <p>表現リズム遊び</p>
--	--	--